



FY20 決算説明資料

2021年6月7日 東京特殊電線株式会社

3. Appendix • • • P.11

(単位：百万円、%)	FY19	FY20	増 減	増減率	増減要因
売上高	17,755	17,297	▲458	▲2.6	売上原価率 売上高での減収はあったが、原価低減の推進や高付加価値品の伸長に伴う改善
売上原価	13,185	12,481	▲704	▲5.3	
(率)	74.3	72.2	▲2.1	—	
売上総利益	4,570	4,816	+246	+5.4	法人税、住民税及び事業税 ▲89百万円 (▲406百万円→▲495百万円)
販売費及び一般管理費	2,310	2,332	+22	+1.0	
営業利益	2,260	2,483	+223	+9.9	
(率)	12.7	14.4	+1.7	—	法人税等調整額 +259百万円 (▲468百万円→▲209百万円)
経常利益	2,322	2,538	+216	+9.3	
税金等調整前当期純利益	2,219	2,542	+323	+14.6	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,187	1,801	+614	+51.7	

- ・売上高は17,297百万円となり、前年同期比▲458百万円（▲2.6%）となった。
- ・売上高増減に含まれる為替換算による影響額▲29百万円
（電線・ヒータ分野+31百万円、デバイス分野▲60百万円）

構成比

電線・ヒータ分野



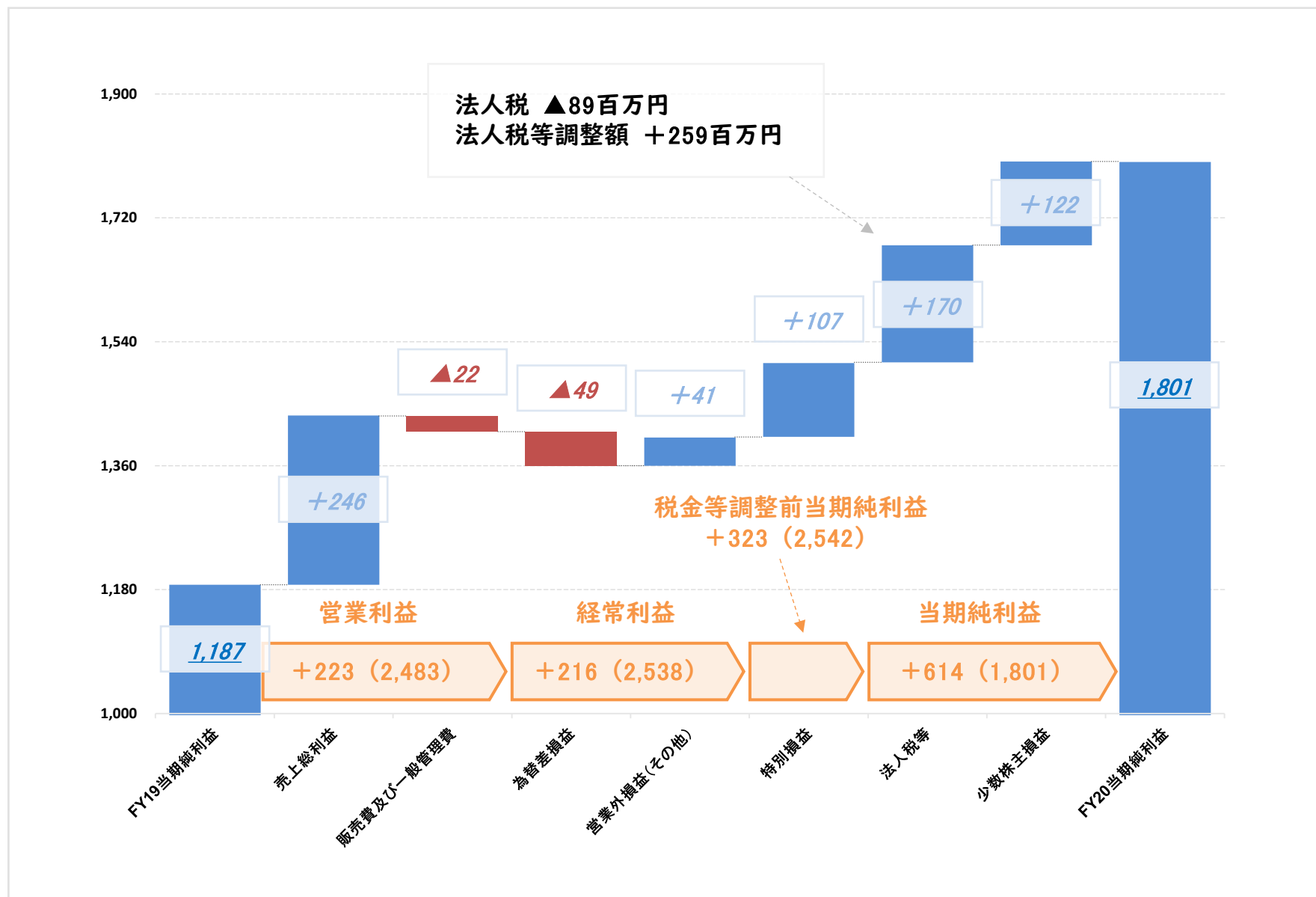
パソコン等の電源トランスに使用される三層絶縁電線は5G市場向けサーバー用途に増加となったが、車載関連の自動車向けシート用ヒータ線はコロナ禍の影響により大きく減少し、中国子会社のヒータ製品も減少したことで前年同期比▲639百万円（▲5.8%）となった。

デバイス分野



プリンター等に使用されるフレキシブルフラットケーブルは減少したが、半導体パッケージ基板導通検査治具に使用されるコンタクトプローブについて5G市場向けで需要が好調となったため増収となり、また、中国子会社の焼付線についても増加したことから前年同期比+178百万円（+2.7%）となった。

（単位：百万円、%）	FY19	FY20	増 減	増減率
売上高（連結）	17,755	17,297	▲458	▲2.6
電線・ヒータ分野	11,111	10,472	▲639	▲5.8
デバイス分野	6,527	6,705	+178	+2.7
その他分野	116	118	+2	+1.9



- ・ 営業利益は2,483百万円となり、前年同期比＋223百万円（＋9.9％）となった。
- ・ 営業利益増減に含まれる為替換算による影響額＋2百万円
（電線・ヒータ分野＋2百万円、デバイス分野＋0百万円）

構成比

電線・ヒータ分野



主に前年同期では堅調に推移した自動車向けシート用ヒータ線を含むヒータ製品が新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大幅な減収となった影響を受け、前年同期比▲14百万円（▲1.0％）の1,337百万円となった。

デバイス分野



コンタクトプローブが前年同期比で好調な推移となったこと、また、売上高を占める品種構成において高付加価値品が伸長したことも寄与し、前年同期比＋250百万円（＋23.9％）の1,296百万円となった。

（単位：百万円、％）	FY19	FY20	増 減	増減率
営業利益（連結）	2,260	2,483	＋223	＋9.9
電線・ヒータ分野	1,351	1,337	▲14	▲1.0
デバイス分野	1,046	1,296	＋250	＋23.9
その他分野	▲137	▲150	▲13	—

(単位：百万円、%)	FY19	FY20	増 減	増減率	増減要因
流動資産	14,218	15,991	+1,773	+12.5	流動資産（その他）
現金及び預金	8,438	9,843	+1,405	+16.6	
その他	5,779	6,148	+369	+6.4	
固定資産	8,535	9,902	+1,367	+16.0	有形、無形固定資産
有形、無形固定資産	6,073	7,465	+1,392	+22.9	
投資その他の資産	2,461	2,437	▲24	▲1.0	
資産合計	22,753	25,894	+3,141	+13.8	設備投資 +2,321百万円 減価償却費 ▲833百万円 固定資産除売却 ▲37百万円 その他 ▲59百万円
流動負債	5,640	6,177	+537	+9.5	
固定負債	2,816	3,618	+802	+28.5	
負債合計	8,457	9,795	+1,338	+15.8	
(うち、有利子負債)	2,394	2,359	▲35	▲1.4	
株主資本	13,385	15,226	+1,841	+13.8	株主資本
その他	910	872	▲38	▲4.1	
純資産合計	14,295	16,098	+1,803	+12.6	
負債純資産合計	22,753	25,894	+3,141	+13.8	資本剰余金 +443百万円 利益剰余金 +1,398百万円
自己資本比率	59.4	60.7	+1.3	—	
Net Cash	6,044	7,483	+1,439	+23.8	

1. 決算概要	・ ・ ・	P.03
2. FY20配当金及びFY21業績予想	・ ・ ・	P.09
3. Appendix	・ ・ ・	P.11

- ・ FY20の年間配当金は、60.0円／株（中間配当金30.0円／株、期末配当金30.0円／株）
- ・ FY21の年間配当金は、FY20と同額の60.0円／株の予想
- ・ FY21の業績予想は下表の通り
（詳細につきましては、2021年5月12日に公表いたしました決算短信をご参照ください。）

（単位：円、銭、％）	中間配当	期末配当	合 計	総額（百万円）	配当性向
FY19	30.0	30.0	60.0	405	34.3
FY20	30.0	30.0	60.0	404	22.4
FY21（予想）	30.0	30.0	60.0	—	22.3

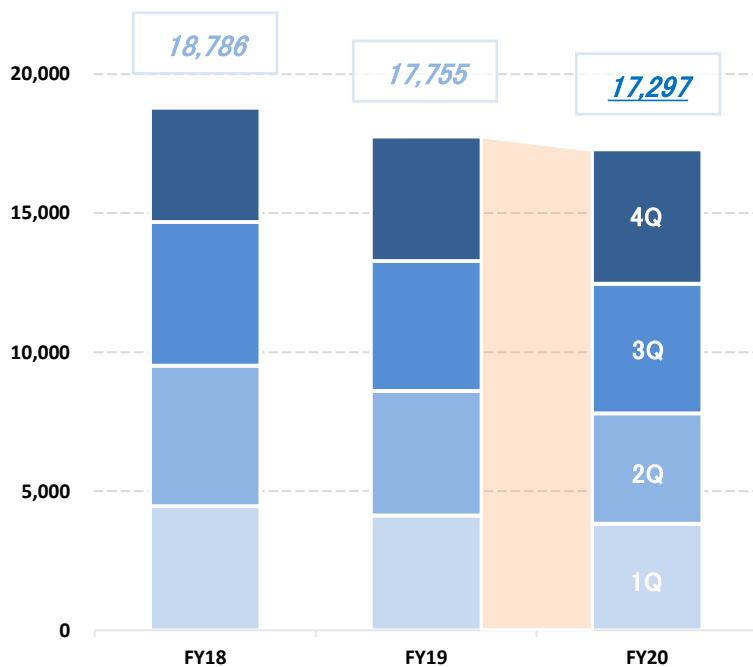
（単位：百万円、％）	FY20				FY21		
	前回予想	実 績	前回比	増減率	今回予想	前年比	増減率
売上高	17,000	17,294	+297	+1.7	18,500	+1,203	+7.0
営業利益	2,200	2,483	+283	+12.9	2,550	+67	+2.7
経常利益	2,260	2,538	+278	+12.3	2,520	▲18	▲0.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,630	1,801	+171	+10.5	1,810	+9	+0.4

※ 将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

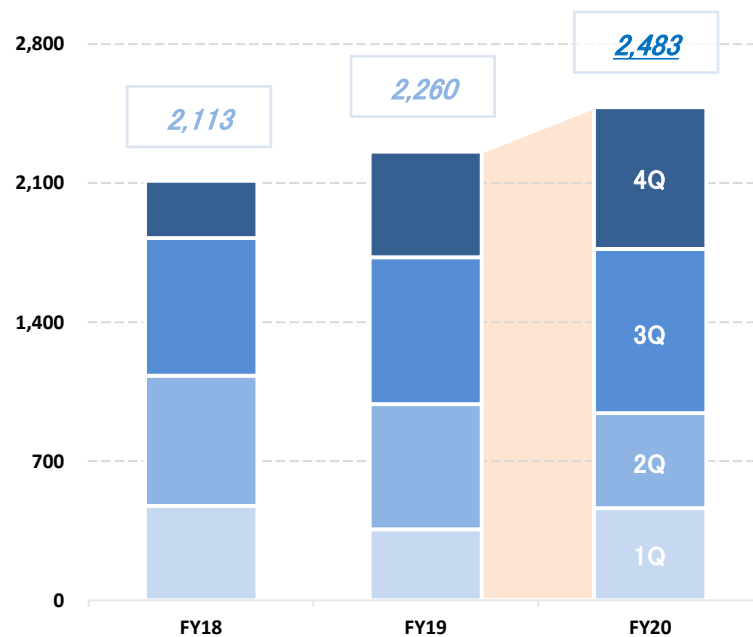
1. 決算概要	• • •	P.03
2. FY20配当金及びFY21業績予想	• • •	P.09
3. Appendix	• • •	P.11

分野毎の増減コメントにつきましては、P.04およびP.06をご参照ください。

売上高（百万円）

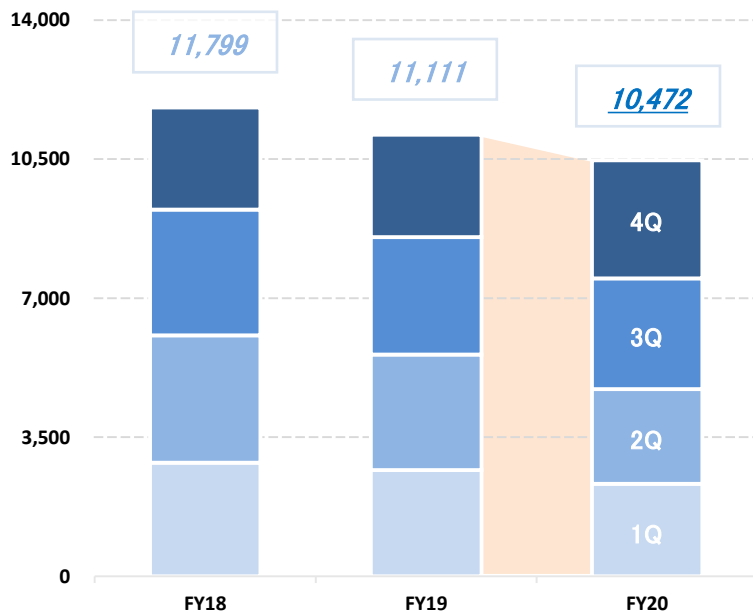


営業利益（百万円）

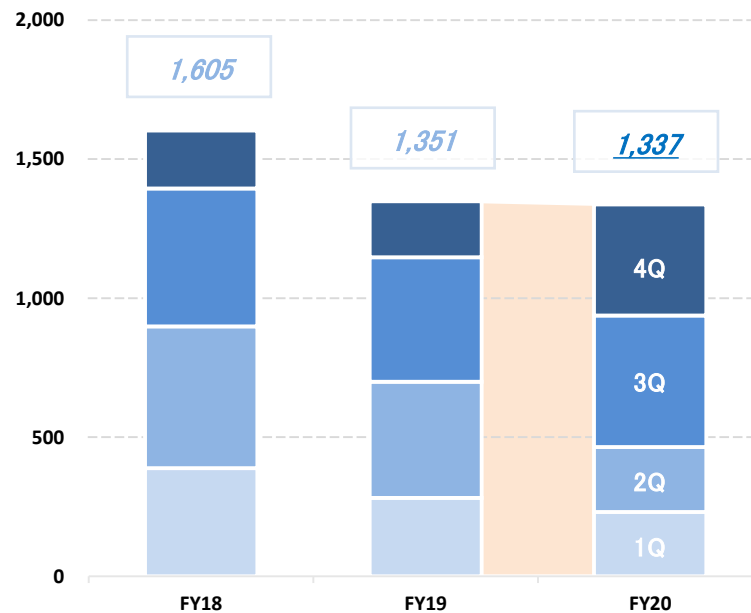


分野毎の増減コメントにつきましては、P.04およびP.06をご参照ください。

売上高（百万円）

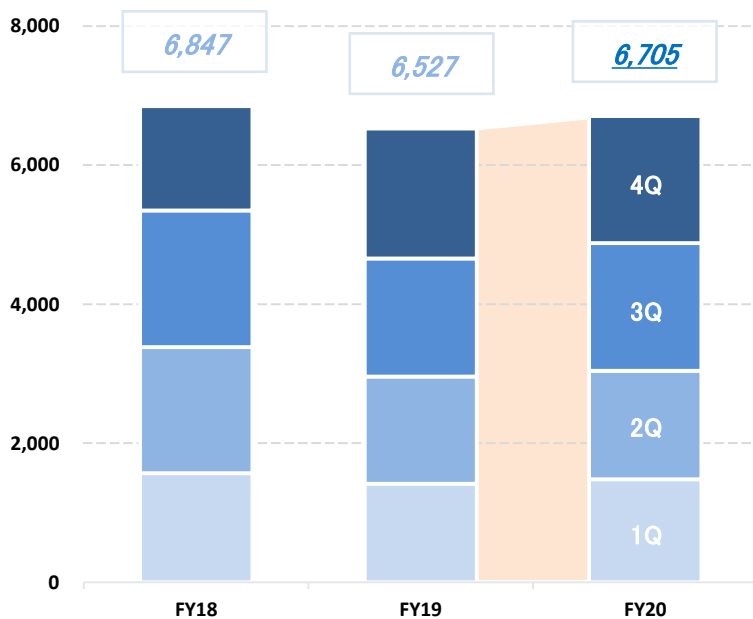


営業利益（百万円）

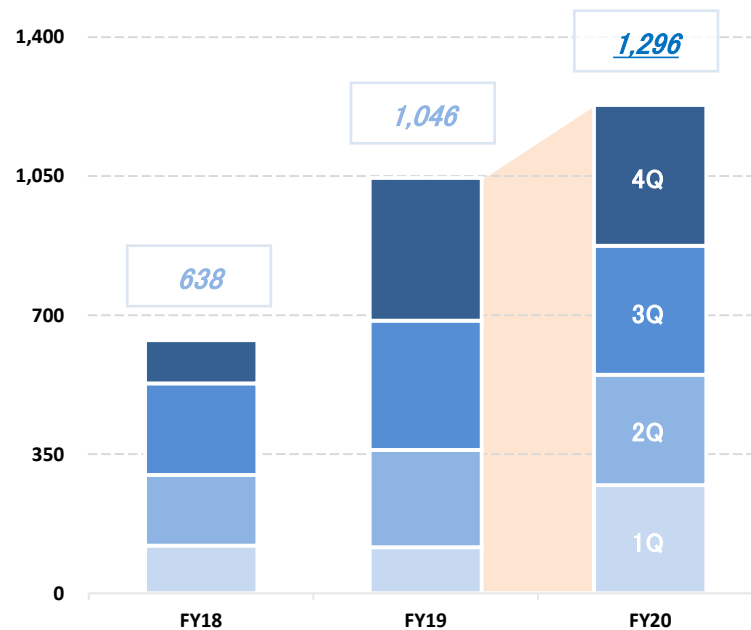


分野毎の増減コメントにつきましては、P.04およびP.06をご参照ください。

売上高（百万円）

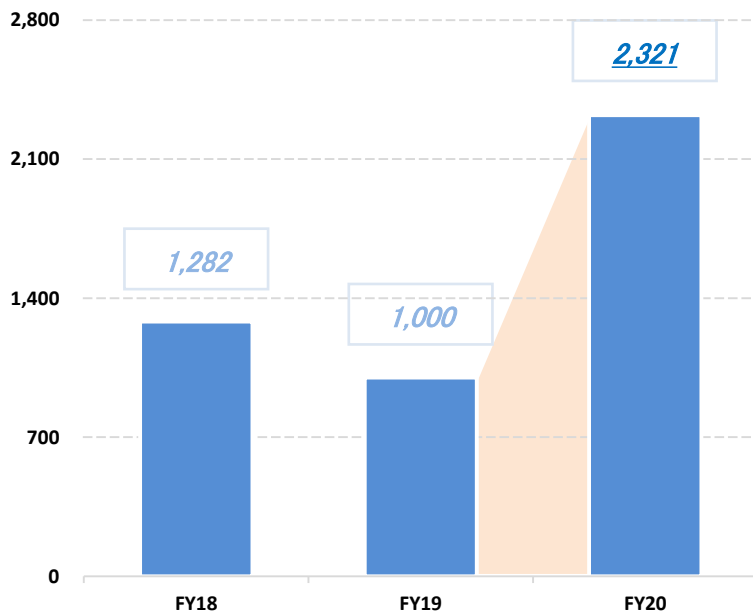


営業利益（百万円）



- ・ 設備投資は主に本体にて上田事業所リニューアルの一環として新建屋建設に伴う投資の増加に伴い、前年同期比+1,321百万円（本体+1,344百万円、連結子会社▲23百万円）となった。
- ・ 減価償却費は前年同期比+120百万円の833百万円となっている。
- ・ 研究開発費については、前年同期比+9百万円（本体+15百万円、連結子会社▲6百万円）となった。

設備投資（百万円）



研究開発費（百万円）

